



並木中等story

令和4年3月1日号

3月1日に実施した卒業式の校長式辞の抜粋です。

●6年次生の皆さん、茨城県立並木中等教育学校の全課程の終了、そして、ご卒業、おめでとうございます。皆さんは多くの人に支えられて、卒業を迎えました。きっと皆さんを支えてくれたすべての人が、皆さんの卒業を喜んでいることと思います。支えがあったから今が有ること、感謝の気持ちを忘れないでください。

●ここで、1つだけお話をしたいと思います。皆さんは並木中等教育学校の卒業生だから“大丈夫”ということです。並木中等教育学校は県から、日本そして世界のリーダーとなる人材を育成して欲しいということで設けられた学校です。課題探究、アクティブラーニング、ICT機器を活用した授業など皆さんは6年間、他校より進んだ教育を受けてきました。

現在の社会はコロナウィルスの感染拡大、地球温暖化、原子力発電所に関連する問題など、解決しなければならない難題が次々に現れてきています。そのような社会で生き残るには、革新を起こせる人、既存のパターンを打ち破り、新しい発見を生み出すことができるイノベーション人材が必要なのです。このイノベーション人材、既存の学習をしているだけでは育ちません。異質な考えを持つ人からの否定や対立に耐え、失敗を重ねることが必要なのです。その失敗を乗り越えた先に発見なり、成功なりがあるのです。

実は、皆さんはその基礎をすでに並木中等の課題探究などで学んでいることに気付いていますか。もう、研究の仕方、発見の仕方は大丈夫です。ここにいるほとんどの人が、今後、大学等や職場で、新たな学びや研究に入られると思います。その時に、並木中等の学びが役立ちます。このことは皆さんの先輩も証明しています。是非、学び続けてきた姿勢を今後も継続し、日本の、そして世界のリーダーになってください。今後の活躍を期待します。

●最後になりますが、保護者の皆様にはこの6年間、お子様を励まし支えていただくとともに本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。私ども職員一同、微力ながら生徒一人一人のことを思い、指導に当たってまいりましたが、地域や保護者の方々のご協力により、なしえたことも数多くあり、心より感謝しております。

●6年次生の皆さん、この2年間は新型コロナウイルス関連などで行事が減り、皆さんには残念な思いをさせてしまいましたが、例年にはない新たな思い出もつくることができました。ありがとうございました。皆さんの前途が幸せで満ちあふれるものになることを祈念いたしまして、式辞といたします。